

# こども環境学会 第2回北陸・東海・関西合同セミナー

## みなさん、大いに楽しむ

### ◆ みなさん、こんにちは

北陸富山において、こども環境に関心のある研究者や実践者が集い、研究や活動の発表による相互の交流を図ることを目的として、三地区合同セミナーを開催し、成功裏に終えることができました。ここでは、参加者のみなさんが富山に地にて楽しさを満喫されたので、一部始終をお伝えいたします

◆ 2013年9月21日(土)、22日(日)の二日間、富山駅北にあるサンフォルテを会場にしてセミナーを開催。北陸16人(富山10、金沢2、福井4)、東海13人、関西12人、東京7人で計48人の参加で、初日は研究発表・活動発表、遊びWS、交流会、二日目は調講演、トークラリー、午後にはエクスカッション(大岩コース:真言密教寺院と山村探訪)、岩瀬コース:岩瀬街並み探訪)を行いました。

### ◆ フレッシュに冒頭挨拶

文化・芸術の秋にふさわしくこの地富山において知的交流を楽しんでくださいとの富山らしいフレーズの挨拶でセミナーがスタートしました。

### ◆ 研究発表・活動発表で発表者は熱く語る

11編の研究論文について内容別に三つのカテゴリーに分け、「こどもの遊び・学習」、「こどものまち・祭り」、「こどもの教育環境」のカテゴリーで発表を行いました。また活動発表1編については、「こどもの生育環境」のカテゴリーで発表を行いました。

発表者の皆さんは、短い持ち時間ではありましたが、日ごろの活動を熱っぽく語っておられました。

### ◆ 小澤先生、若者に混じり気を吐く

とりわけ、今回は会長自らが一兵卒として若い方々に混じって発表というよりもミニ講演の趣となり、先生の特論である「学校教育制度を6・3・3から4・4・4へ」の熱弁にみなさん聞き入っていました。発表が終わった後、矢



継ぎ早に多数の方から質問が寄せられ、司会者の高木氏の温かい配慮により、討議時間がたっぷり取られみなさんが熱い議論に聞き入ることができました。

### ◆ 総括 レベルの高い発表と質疑応答

(by 河原啓二)

小澤先生の迫力にやや押され気味ではありましたが、他の皆さんの発表もたいへん質の高いものでした。「こども環境」という共通語のもと、これだけ多種多様な観点から子どもの成育環境について議論できるのは、「こども環境学会」ならではとあらためて感じた次第です。また、少人数での口演形式だったのも、質疑応答が活発であった要因ではなかったかと思います。各演者の皆さんには、ぜひ研究成果に磨きをかけ、春の京都大会で続報をお聞かせいただきたいと思います。

### ◆ 早川さんのみなさんを巻き込んでの遊び

遊びのワークショップ。リフレッシュタイムを兼ねて早川氏の「子育ては遊びから、大人も馬鹿になって遊ぶ」との趣旨説明とリードのもとで恒例の「皿回しとけん玉」をみなさんと楽しみました。極めつけはけん玉であり、早川氏の日本一周や世界一周の名演技にみなさんがうっとりとして楽しんでいました。



### ◆ 交流会はヒートアップ

これまで学会の交流会は立食形式でありましたが、(立食のほうが割高なため)今回は着座方式となりました。これが幸いしたのか、みなさんは着座でじっくりと話し込むことができました。そのおかげで、写真係りがみなさんの交流模様を撮るのをすっかり忘れてしまうほど、会は盛り上がりました。それでもまだまだとして、二次会に出向いて、みなさんは大いに語り合いを楽しんでおられました。

### ◆ 二日目の挨拶、京都大会に向けて (by 高木真人)

2014年の大会は、京都で「こどもと歴史・伝統 ～未来につなげて～」というテーマで開催することになっています。そうした中で、伝統的な祭りをどう継承していくのかという論文が2篇あり、また外国発のイベントをどのように導入するべきかという話もありました。これらに対して、単に維持するだけでなく、また単に直輸入するのでもなく、その成立背景を考え、地域・環境や時代に合わせた柔軟な対応も必要ではないかという流れになりました。まさに京都大会のテーマにつながるセミナーでもあったといえます。

#### ◆ 神谷先生、神谷節でことの重要さを訴える、基調講演にて

「こどもの育ち支援の環境づくり」と題して、神谷先生は、「キャンプの食事はカレーライスって誰が決めたの、洋食のマナーは知っているけれども和食のマナーはどうなの、和の文化って本当に理解してんの」など、ノリのいいテンポでみなさんに語りかけ、みなさんを魅了しておられました。さすが神谷先生。最後には、「こどもの環境を育てる人間関係が危なくなっています。だからがんばる。今からでも遅くはない」といった感じで、興奮冷めやらぬうちに講演が終わりました。



#### ◆ 皆さんに訴える三方の熱いトーク

今回、三地区から一名の実践家をお招きしてシンポジウムでなくミニの講演として大いに語る目的でトークラリーを設けました。富山の太坪久美子さんからは「こどもと生活」、愛知の田嶋茂典さんからは「こどもの施設環境」、淡路の嶽山洋志さんからは「自然環境と子どもをつなぐ遊び道具について」の演題で大いに語っておられました。

トークラリーでは、女性の視点や遊びのソフトが大事、遊び道具は自然と子どもをつなぐ、など重要な指摘が相次ぎました。なお、付録に、お三方のトークの概要を記しておきます。



#### ◆ 富山のよさを満喫、エクスカージョン

##### (1) 大岩コース

平安時代に建立された真言密教寺院日石寺とその周辺の散策を楽しみました。まずは、参加者一行は、築80-90年くらいの木造4階建旅館で奥地大岩名物

のぶっ掛けタイプのソーメンを美食いたしました。次いで、幕末期に立てられた壁なしの三重塔や魔崖物「不動明王」を見学しました。その後、アニメおおかみこどもの雨と雪の舞台になった古民家を訪ね、別世界における時間の流れと素朴な空間を満喫いたしました。

##### (2) 岩瀬コース

江戸末期から明治期にかけて日本海で活躍した北前船廻船問屋の街「岩瀬」における街並み保全について見学しました。当地で保全事業の陣頭指揮に当たっておられた職芸学院の上野幸夫氏がかけつけていただき、保全事業以前の写真や図面などをもとに懇切でいねいな説明をいただき、参加者全員が大変勉強になったと感激しておられました。



#### ◆ 実行委員会からどうもありがとうございました

富山では、こども環境について実践は多々あるのですが、建築系・教育系ともに研究はわずかです。このため、富山で合同セミナーができるのか危ぶまれましたが、幸いなことに北陸は当然のこと東海・関西さらに東京の方々の応援をいただき、富山ならではの特徴ある企画を実施することができました。もちろん参加のみなさんからご支援も賜りました。ここに感謝申し上げます

#### ◆ 第3回合同セミナーもよろしく願いいたします (by 松本直司)

来年度の第3回合同セミナーは、『東海こども環境研究会』が担当させていただきます。時期的には今回とほぼ同じで9月とし、会場は名古屋にしたいと思っております。これから実行委員会を組織し、会員の皆様が交流を深め多くの成果が得られますように、講演会、シンポジウム、研究活動報告会、懇親会、見学会など企画してこの地方ならではの特色を出せればと思います。楽しいセミナーですので、是非とも参加いただきますようお願い申し上げます。研究活動報告では梗概集も例年の通り発行致します。学生さんもお誘いいただき、ふるって応募いただきますようお願い申し上げます。

## ◆ 付録1：何人かの感想、さすが学会

(1) ノリの乗った交流会ですっかり子ども環境学会に魅せられたお二方は「学会ってこんなに楽しいの」とおっしゃって、さっそく本学会に入会されました。

(2) 事務局の方は一般参加者としての参加でしたので、会場内での発表や議論をすべて拝見することができ、みなさまの心意気を感じ取ることができましたと喜んでおられました。

(3) 今回、学生の集まる場所に実行委員が出かけ参加を直接呼びかけましたら、薬学部の女子学生が当日来ていただきました。その学生は、小澤会長の講演に質問をして果敢なところを見せておられました。

特に面白かったこととして、学生自身が体調を崩した際に指導教官に「なぜ君は薬を使わないのか」と言われた、ということでした。この発言がされた途端に間髪を入れずに、会場にいるみなさんがどっと笑いました。のちに、その方と話をしたところ、「あの笑いがとてもすがすがしく聞こえました。笑ってくれたことに自分がとても勇気付けられた。」とっておられました。また、「子ども環境のみなさんが健やかに人間らしく振舞っていることがとても魅力的にうっとりしました」とのことでした。

(4) 紙芝居を趣味にされている会員が古民家の大広間でみなさんに紙芝居を披露していました。そこには一般の家族連れが何人もおられ、我らも子ども達とともに紙芝居の世界を楽しみました。



(5) 感想をいただきました。「古民家でのゆったりと流れる時間に身をゆだね、久しぶりに幸せ感で身も心も充実しました。で、昨夜、2-3年ぶりに渋谷駅前を歩き、都会の若者にぜひ体験して欲しいと年寄り一人つぶやいていました。」

## ◆ 付録2：ホットなホットなトークラリー

(1) 大坪久美子氏：「子どもと生活」

大坪氏は、女性の視点を活かして持続可能な社会をめざす地域づくりに取り組んでおられ、「子どもの視点を重視し、子どものシビックプライドを育て、子どもと一緒にまちづくりについて活動に取り組み展開していきたい」と語っておられました。

なお、最近の取り組みは； ・子どもと共に「消費者市民」になろうプロジェクト、・DVの無い社会をめざしての普及啓発講座、・女性の視点を生かした男女共同参画の防災、・生活環境を左右するまちのハード面「道」の取り組み、とのこと。

(2) 田嶋茂典氏：「こどもの施設環境」

田嶋氏は、「こどもの施設環境が固定化されたものであってはいけない。ハードとしての施設環境を十分に活用しながら、いつ来ても新しい発見や新鮮な驚きが体験できる、常にプログラム更新され続ける「遊びの環境づくり」の視点が必要だ。」と力説され、「開館以来17年間、さまざまな視点からの「遊びのプログラム開発」を続けてきている“愛知県児童総合センター”での実践をもとに、魅力的な施設環境づくりの方法について」報告されておられました。

(3) 嶽山洋志氏：「自然環境と子どもをつなぐ遊び道具について」

嶽山氏は「釣り竿などの遊び道具をつくるプロセスは自然や地域の特性を理解する絶好の機会である」ことを様々な事例を用いて解説しておられました。

## ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 資料編 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

### ◆◆ 資料1 プログラム

#### ■ 全体スケジュール

##### 9.21(土)午後 研究発表・活動報告

13:30 開会の挨拶 (富樫豊・実行委員長)

13:35-16:30 研究発表・活動発表

(口頭発表、発表8分・討論4分)

16:30-16:55 遊びのWS、早川隆志(NPO 子ども遊ばせ隊)

17:00-17:30 総括 (河原啓二・子ども環境研究会関西)

18:00-20:00 交流会 (自遊館1Fレストラン) オプション

##### 9.22(日)午前 基調講演・トークラリー

09:00 挨拶 (高木真人・子ども環境研究会関西)

09:05-10:20 基調講演

神谷明宏氏(聖徳大学児童学部准教授)：

こどもの育ち支援の環境づくり

10:30-11:55 トークラリー (実践トークと意見交換)

大坪久美子氏

(NPO 法人Nプロジェクトひと・みち・まち)

：子どもと生活

田嶋茂典氏(元愛知県児童総合センター)

：こどもの施設環境

嶽山洋志氏(兵庫県立淡路景観園芸学校講師)

：自然環境と子ども

11:55 閉会の挨拶 (松本直司・東海子ども環境研究会)

12:00 終了

##### 9.22(日)午後 エクスカーション

A コース：真言密教寺院と山村探訪

B コース：岩瀬街並み探訪

#### ■ 研究報告

1 こどもの遊び・学習 (13:40- 14:28)

司会：藤田大輔、須藤美音

- 101 あそび場につながる安全で楽しい路地の活用に関する研究  
—春の小川が暗渠化された路地の活用—  
藤村久夫 (こども環境研究会関西)
- 102 子どもの頃の心に残る遊びの風景  
—岐阜県中津川市本町中山道地区を対象として—  
加藤千尋 (名古屋工業大学), 松本直司,  
内田美沙, 東美緒
- 103 物理的要因を組み込んだワークショップ展開  
—円錐コマを往復させる玩具づくりの教育的展開について—  
渋谷寿 (名古屋女子大学), 吉川直志
- 104 園芸作業を通して子どもたちと学生たちに力を与える —東海地区での実践から—  
島田隆道 (愛知医療学院短期大学)

## 2 こどものまち・祭り (14:33-15:21)

司会: 渋谷寿, 加藤千尋

- 105 こどもが創るまち「とさつタウン」における子どもの想い  
花輪由樹 (京都大学)
- 106 こどもの頃の祭り風景における男女の相違  
—伝統環境の祭り風景に関する研究—  
大岩良平 (名古屋工業大学),  
松本直司, 入江静香
- 107 伝統環境をとりまく地区における子どもの祭り活動  
—子どもの祭り「ギオンバ」を対象として—  
肥田朋子 (名古屋工業大学),  
松本直司, 内田美沙
- 108 学生まちづくりコンペを通じた若者とまちの結びつき —富山市の事例—  
大西宏治 (富山大学)

## 3 こどもの教育環境 (15:26-16:14)

司会: 高木真人, 肥田朋子

- 109 異年齢保育実施園の生活実態からみた保育方針に応じた空間のあり方  
藤田大輔 (岐阜工業高等専門学校)
- 110 冬季における保育所の温湿度環境に関する研究  
—加湿器・温湿度計の設置による湿度環境への影響に関する考察—  
青木哲 (岐阜工業高等専門学校)
- 111 日本の学校教育制度6・3・3制に関する一再考  
—教育・学びの再生から考える—  
小澤紀美子 (元東京学芸大学)
- 112 エコ・ミュージアムにおける地域理解を促す環境学習の研究  
井上和久 (早稲田大学), 友成真一

## ■ 活動報告

### 1 こどもの成育環境 (16:14-16:26)

司会: 高木真人, 肥田朋子

- 201 「スペースき〜の」の活動  
—不登校・ひきこもりの青少年達の成長の場づくり—  
鈴木るみ子 (カウセリングドーム・かほ°イ),  
清水雅美, 山田裕美

## ◆◆ 資料2 組織

組織は、開催委員会があり、その下に実行委員会と編集委員会があります。

### ■ 開催委員会

- 委員長 富樫豊 NPO地域における知識の結い  
工学博士…北陸
- 副委員長 松本直司 名古屋工業大学大学院・教授  
工学博士…東海
- 副委員長 河原啓二 姫路市・医監兼生活審議監  
医学博士…関西
- 副委員長 高木真人 京都工芸繊維大学・准教授  
博士 (工学) …関西

### ■ 実行委員会

- 委員長 富樫豊 NPO地域における知識の結い  
工学博士…富山
- 同補佐 栗原知子 福井大学・助教  
博士(工学)…福井
- 副委員長 早川隆志 NPO富山・イタズラ村・子ども遊  
ばせ隊・理事長…富山
- 副委員長 清水雅美 福井県子どもNPOセンター・理事  
長…福井
- 副委員長 森田康子 北陸学院大学・カウンセラー  
…石川
- 副委員長 櫻井典子 新潟大学教育・学生支援機構・特任  
准教授 博士(工学)…新潟
- 委員 丸谷芳正 富山大学・教授…富山
- 委員 大西宏治 富山大学・准教授  
修士(地理学)…富山
- 委員 飯田良智 星槎国際高校富山学習センター・  
教諭…富山
- 委員 塚田由佳里 いすみ高校・教諭  
博士(学術)…富山

### ■ 編集委員会

- 委員長 松本直司 名古屋工業大学大学院・教授  
工学博士…東海
- 副委員長 河原啓二 姫路市・医監兼生活審議監  
医学博士…関西
- 副委員長 富樫豊 NPO地域における知識の結い  
工学博士…北陸
- 副委員長 高木真人 京都工芸繊維大学・准教授  
博士 (工学) …関西

### ■ 三地区の研究会

今回のセミナーの開催母体は、こども環境学会環境活動委員会の傘下にあります三地区の研究会です。当該研究会の代表者を記します。

- 富樫豊 北陸こども環境研究会・代表  
松本直司 東海こども環境研究会・代表  
河原啓二 こども環境研究会関西・代表  
高木真人 こども環境研究会関西・事務局長